



▲明ヶ島地区小畑前（道路冠水）

# 8月23日集中豪雨 上之保地域で 大きな被害

## 被害状況

### ◇浸水の状況

地区	床上浸水	床下浸水
鳥屋市	0	5
明ヶ島	5	10
宮脇	0	2
計	5	17

### ◇道路通行止め

- ◆県道 美濃加茂～和良線 上之保中学校付近、萬香美橋付近、武儀・上之保境、上之保小学校前
- ◆市道 富之保岩山崎地内（現在は、通行できません）、笠松線（明ヶ島小畑前～行合山中）、小笹井谷線（全面）

### ◇土木・農業施設などの被害

田(流出・埋没)・1.7ha	道路(市道)・・・8箇所
田(冠水)・・・3.2ha	河川・・・10箇所
畑(流出・埋没)・0.03ha	がけ崩れ・・・3箇所
畑(冠水)・・・0.6ha	林道・・・27箇所
	治山・・・5箇所



▲明ヶ島地区阿木（田・道路冠水）



▲鳥屋市地区田畑（河川増水）



▲船山地区（土砂流出）

8月23日に上之保地域を襲った集中豪雨は、各集落で床上浸水、道路の冠水、がけ崩れなどの大きな被害をもたらしました。被害を受けられた皆様には、お見舞い申し上げます。市は、一日も早い災害復旧に努力してまいります。

## ●雨の強さと降り方

1時間雨量(ミリ)	予報用語	人への影響	屋外の様子	災害発生状況
10～20	やや強い雨	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	地面一面に水たまりができる。	長く続くときは注意が必要。
20～30	強い雨	傘をさしていてもぬれる。	道路が川のようになる。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30～50	激しい雨	傘は全く役に立たなくなる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要となる。
50～80	非常に激しい雨			マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80～	猛烈な雨			雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

# 風水害が発生したら！

台風や豪雨はニュースなどで事前にある程度の情報を得ることができます。いざ災害が発生してしまつてからでは、高齢者などの災害時要援護者は逃げきれない可能性があります。近隣の人たちと相談し、早めに避難行動を始めるように心掛けましょう。 **照会先** 危機管理課 ☎23-7736

## ◆避難情報の種類

### 1 避難準備 (要援護者避難) 情報

- 避難に時間がかかる高齢者などの災害時要援護者は、決められた避難所へ避難する。
- 家族などは要援護者の避難をサポートする。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持ち出し品の用意などの避難準備を始める。

### 2 避難勧告

- 通常の避難行動ができる人が避難を開始し、決められた避難所や安全な所に避難する。



### 3 避難指示

- 避難中の住民は、直ちに避難を完了する。
- まだ避難していない住民は、直ちに避難する。
- 万が一、決められた避難所へ避難する余裕がなければ、自宅（2階以上）や近隣の安全な場所へ逃げるなど、命を守る最低限の行動をとる。

## ここに注意

危険を知らせるために市内に鳴り響くサイレンや防災行政無線（同報無線）の音は、耳の不自由な方は聞き取ることができませんから、近隣住民の支援が必要不可欠です。耳や目の不自由な人や外国人への個別の連絡方法を日ごろから考えておきましょう。

## ◆風水害から安全に避難するポイント

### ■浸水害■

- 浸水 50cm を上回る（ひざ上までの水）場所での避難は危険
- 水の流れが速い場合は、20cm 程度でも歩行できないことがある
- 用水路などへの転落の可能性がある場合は、10cm 程度でも十分注意
- 水が押し寄せて歩くのが危険になった場合は、自宅や近隣建物の 2 階などへ緊急避難する



### ■土砂災害■

- 土砂災害危険区域内を通らない
- 渓流から直角方向に逃げ、できるだけ渓流から離れる（渓流を渡って対岸に逃げるのは危険）
- 逃げる時間がない場合は、比較的高い鉄筋コンクリート造などの堅固な建物の 2 階以上で、斜面と反対側の部屋に避難する



## 関市あんしんメールの登録を

同報無線確認ダイヤル  
☎23-9940

(www.city.seki.gifu.jp/ansin\_mai/ansin.htm)

登録は簡単です。いざというときに備え皆さん登録しましょう。詳しくは、危機管理課（☎23-7736）または市ホームページ

市では、携帯電話のメール機能を活用し、地震、台風などの自然災害についての防災情報を電子メールで市民の皆さんに配信します。

災害時の緊急情報は防災行政無線や市ホームページでお知らせしますが、さらに伝達手段を増やし、情報を確実に市民の皆さんに知らせることが求められています。

